

以下の設問に答えなさい

- 【1】 ローマ教皇の歴史は使徒ペトロまでさかのぼる。中世初期、ローマ教皇の権威はまだ西ヨーロッパ全体に及ぶものではなかったが、(1)11世紀半ばにはじまる教会改革を契機に教皇はその権威を高めていく。教会改革は、グレゴリウス7世とハインリヒ4世に見られるように、(2)教皇と神聖ローマ皇帝の激しい対立へといたり、この対立は(3)イタリアの政治にも大きな影響を及ぼした。教皇権の絶頂期はインノケンティウス3世時代とされている。インノケンティウス3世は、(4)イギリス(イングランド)やフランスの国内問題に介入し、また第4回十字軍を提唱した。だが、教皇の権威も、十字軍の失敗や各国における王権の伸張とともに次第に衰えていく。特に、1378年から1417年にいたる(5)教会大分裂(大シスマ)により教皇権の衰退は決定的となった。

ローマ教皇は教皇領を世俗支配した。教皇領のはじまりは、(6)「ピピンの寄進」とされている。ヨーロッパ内で教皇の権威が衰退するのにともない教皇領の重要性は増していった。15世紀半ば以降、教皇領は国家としての内実を整えていくが、イタリアの統一過程において大きな変化を強いられることになる。1861年に成立したイタリア王国は、1866年にヴェネツィアを併合し、1870年には教皇領を占領した。その後も教皇は、教皇庁に閉じこもってイタリア政府と対立を続けたが、1929年、ラテラン(ラテラノ)条約によって両者は和解し教皇庁は独立の国家として承認された。

問1. 下線部(1)について、(ア)この教会改革に影響を与えた910年設立の修道院の名前を答えなさい。また、(イ)この教会改革で批判された聖職に関する慣行を2つ挙げなさい。

問2. 下線部(2)について、教皇と神聖ローマ皇帝が対立するにいたった理由を簡潔に説明しなさい。

問3. 下線部(3)について、(ア)皇帝のイタリア政策に対抗して12世紀に結成された北イタリアの都市同盟の名称を答えなさい。また、(イ)14世紀初頭、教皇派(ゲルフ)内の抗争によりフィレンツェを追われた詩人の名前を答えなさい。

問4. 下線部(4)について、インノケンティウス3世と対立し破門されたイングランド王ジョンは、大憲章(マグナ・カルタ)を承認させられた王としても知られる。大憲章承認にいたる経緯を簡潔に説明しなさい。

問5. 下線部(5)について、(ア)教会大分裂にいたる教皇権の衰退過程を14世紀初頭にまでさかのぼって説明しなさい。また、(イ)教会大分裂を終結させた公会議の名称を答えなさい。

問6. 下線部(6)について、「ピピンの寄進」の歴史的背景を説明しなさい。(90字)

2015 北海道大学

- 【2】 アジア各地には古くからそれぞれ独自の知の体系が発展し、それらを支える知識人たちも存在した。そして16世紀以降、ヨーロッパの知識・学問に接するようになるなかで、それらは次第に変容していった。アジア諸地域における知識・学問や知識人の活動に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 読書人などと呼ばれた中国前近代の知識人にとって、儒学と詩文は必須の教養であった。これらはいずれも、漢代までの知的営為の集積を背後にもつ。この集積は時として想起され、現代に至るまでその時々中国社会に大きな影響を与えることがあった。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) それまで複数の有力な思想の一つにすぎなかった儒学が、他の思想とは異なる特別な地位を与えられたのは、前漢半ばであった。そのきっかけとなった出来事について2行以内で説明しなさい。

(b) 唐代に入ると詩文には様々な変化が起こった。文章については唐代中期以降、漢代以前に戻ろうとする復古的な気運が生まれた。唐代におけるその気運について2行以内で説明しなさい。

問(2) 14世紀半ば、東アジアは元の衰退にともない一時的に混乱した。しかし、1368年に明が建国されると、再び新たな安定の時期を迎え、知識人たちも活発に活動した。1392年に成立した朝鮮(李氏朝鮮)も、明の諸制度を取り入れながら繁栄し、知識人による文化事業が盛んにおこなわれた。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 15世紀前半の朝鮮でなされた特徴的な文化事業について2行以内で説明しなさい。

(b) 明の末期になると、中国の知識人たちは、イエズス会宣教師がもたらしたヨーロッパの科学技術に強い関心を示した。その代表的な人物である徐光啓の活動について2行以内で説明しなさい。

問(3) 18世紀後半以降、ヨーロッパの侵略や圧力にさらされるようになると、アジアの知識人は自国の文化の再生や、政治・経済の再建を目指して改革運動をはじめた。かれらは、ヨーロッパの知識を吸収しつつ近代化・西欧化を推進しようとするグループと、逆に伝統の本来の姿を復活させようとするグループとに分かれて論争し合い、政治運動も展開した。これらの改革運動に関する以下の問いに答えなさい。

西アジアのアラビア半島では、ワッハーブ派が勢力を拡大した。この運動について90字以内で説明しなさい。

2010 東京大学

以下の設問に答えなさい

【3】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。なお、固有名詞等、漢字で書くべきものは漢字で解答すること。

前近代における東アジア諸国の歴史は、中国王朝の存在を無視しては語り得ない。とりわけ、地勢の関係から中国の文明が直接及び朝鮮半島においては、歴代の中国王朝との関わり合いが、歴史の展開に大きく影響した。

紀元前2世紀以来、朝鮮半島西北部には、衛氏朝鮮と呼ばれる独立王国が存在していたが、紀元前108年、(a)武帝の治世にあった前漢によって滅ぼされた。朝鮮半島の北部には楽浪郡などあわせて4つの郡がおかれ、中国の直轄地となった。しかし漢王朝の朝鮮半島に対する支配は、紀元前1世紀に中国・東北地方南部の鴨緑江中流域に建国された高句麗の影響もあって次第に弱まり、後漢時代末期には、遼東半島に自立した公孫氏が楽浪郡一帯を支配下に入れ、その南部に帯方郡を設置するに至った。(b)公孫氏政権は238年に当時洛陽に都を置いていた中国王朝によって滅ぼされ、朝鮮半島北部は再び中国王朝の支配下に入るが、4世紀に入り再び中国王朝が弱体化すると、313年に楽浪郡は高句麗に滅ぼされ、帯方郡は朝鮮半島南部の韓族によって滅ぼされた。

韓族は、(c)3世紀後半には、馬韓・弁韓・辰韓のいわゆる三韓に分立していたが、4世紀半ばまでには、百済・新羅が成立した。その頃、高句麗は最盛期を迎え、4世紀後半から5世紀はじめにかけて、百済・新羅に圧迫を加えて領土の拡大をはかり、百済を援助した倭とも交戦した。その当時の(d)高句麗の王の事績は、現在の中華人民共和国吉林省集安市に建立された著名な墓碑とその碑文によって知られている。

高句麗・百済・新羅が朝鮮半島に併立した時期は、朝鮮史における三国時代と呼ばれることもあるが、その前半にあたる4～6世紀は、中国では五胡十六国の混乱・西晋の滅亡を経て、ほぼ淮河を境として南朝・北朝が対立する時代でもあった。(e)高句麗・百済・新羅の三国は、それぞれ南朝もしくは北朝の権威を借りつつ、抗争を繰り返した。

中国において隋・唐が成立すると、朝鮮半島にも影響が及んだ。(f)隋・唐と高句麗・百済・新羅三国を交えた抗争は、最終的に新羅が朝鮮半島統一を果たすまで続いた。いっぽう、新羅による統一後には、朝鮮半島の北部から現在の沿海州にわたる地域に(g)渤海が建国され、9世紀に最盛期を迎え、「海東の盛国」と呼ばれるほどであった。

東アジア世界の政治的中心であった唐も、8世紀に入って、(h)開元の治による安定期こそあったものの、755年に勃発した安史の乱を契機に、次第に没落していった。その影響は周辺諸国にも及び、新羅においても8世紀半ばから衰えが始まり、10世紀に入ると、地方豪族出身の王建が高麗を建国し、936年には全国を統一するに至った。高麗は、(i)五代の各王朝や宋と通交することを通して、東アジア世界の中で国際的な地位を確立する一方で、(j)国内では官僚制を整備した。しかし、その後王権の弱体化が進行し、12世紀末には武官の崔氏によって政権を握られ、13世紀後半には一部の激しい抵抗こそあったものの、(k)モンゴルのフビライに服属することとなった。

中国において元が滅亡した後も、高麗では、親元派と反元派の対立が続いた。そうした状況のもと、倭寇の鎮圧で国内の名声を高めた李成桂が王位に推されて、朝鮮王朝を建てた。朝鮮王朝建設の年は、日本においては南北朝の合一が行われた年でもあり、14世紀末の東アジア世界においては、(l)明の建国もあって、新しい政治秩序が一応の安定に達したといえる。

朝鮮王朝は、科擧の整備や朱子学の導入など、積極的に明の制度や文化を取り入れ改革を進めたが、明が滅亡し満洲族が建てた清が中国を支配するようになると、清に服属することとなった。しかしその後も朝鮮では、儒教の儀礼が中国以上に厳格に守られたと言われる。

問1. 下線部(a)について、前漢の武帝は、朝鮮半島北部のみならず、匈奴征討やベトナム方面への領土拡張でも知られる。この領土拡大に伴う軍事行動により財政難におちいった前漢が採用した財政政策について、50字以内(句読点等も含む)で述べよ。

問2. 下線部(b)について、遼東半島を中心に半ば独立した政権であった公孫氏を滅ぼした、中国王朝の名称を記せ。

問3. 下線部(c)について、百済・新羅は、それぞれ三韓のどの地域を統一して成立したか。次の組み合わせの中から、正しいものを選び、ア～エの記号を記せ。

ア. 百済—弁韓 新羅—辰韓

イ. 百済—馬韓 新羅—辰韓

ウ. 百済—馬韓 新羅—弁韓

エ. 百済—辰韓 新羅—馬韓

問4. 下線部(d)について、この高句麗王の名前を記せ。

問5. 下線部(e)について、中国の周辺諸国家と中国王朝とのこうした交渉を通して、東アジア世界には冊封体制と呼ばれる中国中心の国際秩序が作られた。この冊封体制とはどのような国際秩序であったか、100字以内(句読点等を含む)で述べよ。

問6. 下線部(f)について、新羅が朝鮮半島の統一に至る経緯について、朝鮮三国と隋・唐との関係に必ず触れながら、120字以内(句読点等を含む)で述べよ。

問7. 下線部(g)について、渤海を建国した人物は誰か、記せ。

問8. 下線部(h)について、「開元の治」ではどのような政策が進められたか。推進した皇帝に必ず触れながら、50字以内(句読点等を含む)で述べよ。

問9. 下線部(i)について、物資流通の便宜から大運河の用地である開封に都を置く王朝が多かった五代諸王朝の中で、唯一洛陽に都を置いた王朝の名称を記せ。

問10. 下線部(j)について、高麗の整備された官僚制は、新羅とは異なった新たな特権身分を形成することになる。新羅の身分制度の名称と特権階級化した高麗の官僚層の呼称との組み合わせの中で、正しいものを選び、ア～エの記号で記せ。

ア. 新羅—科擧制 高麗—兩班

イ. 新羅—骨品制 高麗—官戸

ウ. 新羅—九品中正制 高麗—形勢戸

エ. 新羅—骨品制 骨品—兩班

問題文が長いため、全文を表示できません。

Word、Excel、テキストに書き出してから編集してください。

以下の設問に答えなさい

- 【4】 20世紀は世界戦争の世紀であったといわれるが、その反省から国際的機構を設立することで平和を構築しようとする努力がなされた世紀でもあった。(1)新兵器の登場などで多くの死傷者を出した(2)第1次世界大戦が終結すると、平和な世界を取り戻すために講和会議がひらかれ、アメリカ合衆国大統領ウィルソンの提案をもとに国際連盟が設置された。また、軍縮の気運も高まり、1921年から【 A 】会議が、1930年には【 B 】会議が開催されて、海軍力が制限された。1928年には不戦条約も結ばれるなど、国際協調の気運は高まった。

問1. 空欄A・Bの中に適当な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、この戦争で本格的に使用された新兵器の名を3つ答えなさい。

問3. 下線部(2)について、この戦争は総力戦といわれた。総力戦について簡潔に説明しなさい。(95字)

2007 北海道大学

- 【5】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

2011年は、辛亥革命100周年に当たる。100年前の中国は、滅亡した中華帝国に替わる近代国民国家の創造を模索していたのだが、その後の歩みには多くの困難があり、また日本も密接に関わることになる。

革命勃発の翌年、【 a 】を臨時大総統とする中華民国が建国されたが、清朝の実力者だった【 b 】が革命政府と交渉して、清朝皇帝の退位を条件として、自ら臨時大総統に就任することを認めさせた。【 b 】は独裁を進めて皇帝になろうとしたが、内外の反対にあって失敗した後に急死し、中国は各地に軍事的有力者(【 c 】)が割拠する分裂状態になった。他方、革命の3年後に起こった第一次世界大戦を契機に、中国を取り巻く国際環境も大きく変わるとともに、経済・社会にも新たな状況ができてきた。大戦中の1915年には、日本が21カ条の要求を【 b 】に突き付け、軍事的圧力の下でその多くを承認させた。また、国内では新たな状況を背景に、新文化運動が起こり、多くの若者を啓蒙した。戦後、中国はパリの講和会議で21カ条の要求の破棄を求めたが容れられず、これに抗議する北京の学生たちのデモから始まった大衆的な愛国運動が全国で盛り上がり(【 d 】運動)、北京政府は講和条約への調印を拒否せざるをえなかった。

問1. 空欄【 a 】～【 d 】に適切な語句を入れなさい。

問2. 下線部について、第一次世界大戦が中国に及ぼした経済的・社会的影響について、80字以内で説明しなさい。

2013 首都大学東京

- 【6】 1793年にフランス国王が処刑された時期のイギリス首相ピットがとった行動について、70字程度で説明せよ。

新潟大学

- 【7】 アフリカでは、エジプトを除けば最古の国とされている【 a 】王国以来、幾多の王国が商業交易などによって栄えてきた。しかし、16世紀から19世紀にかけて、1000万人を超えると推定される黒人が、奴隷としてアメリカ大陸に運ばれた。ヨーロッパで市民たちが交流して文化を発展させる場となったコーヒーハウスやカフェの裏側には、黒人奴隷を酷使して【 b 】・コーヒー・煙草などを生産させる大農園が存在していたのである。さらに19世紀後半から(1)ヨーロッパ列強による分割戦争が激化し、世紀末には(2)【 c 】共和国と(3)【 d 】帝国を除いて、すべて列強に支配されることになった。

第二次世界大戦後、地中海南岸の諸国に続いて、サハラ以南では【 e 】が最初に独立を達成し、1960年には一挙に17の国が独立して「アフリカの年」と呼ばれた。これらの独立国は植民地主義と闘うために、1963年に【 f 】を設立し、連帯と統一を進めている。しかし、(4)多くの国は政治的に不安定で、その後クーデターや内戦が繰返された。また、少数の白人が支配する南アフリカ共和国では、【 g 】と呼ばれる人種隔離政策が続けられた。

問1. 空欄【 a 】～【 g 】に、適切な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、19世紀末から20世紀初頭にかけての、アフリカをめぐるイギリスとフランスの動きを、以下の語句をすべて用いて、130字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

ジブチ カルカタ ドイツ

問3. 下線部(2)について、アフリカ最初の共和国であるこの国を樹立したのは、主にどのような人々か、記しなさい。

問4. 下線部(3)について、この国も20世紀前半にある国に併合された。併合した国の国名を記しなさい。

問5. 下線部(4)について、そうした事態の背景にある、植民地時代の境界や経済について、80字以内で説明しなさい。

2007 首都大学東京

以下の設問に答えなさい

【8】 次の文章を読み、問に答えよ。

ロシアのうち、西はウラル山脈から東は太平洋岸に至る広大な地域はシベリアと呼ばれているが、この地ではツングース系、テュルク系、およびモンゴル系などの諸民族が早くから狩猟や牧畜に従事していた。

しかし16世紀後半になると、(a)イェルマークに率いられた【 ア 】によるシベリア進出が始まり、やがてシベリアの語源にもなったシビル・ハン国が滅ぼされ、シベリアはロシア領に編入されていく。ロシアは早くも(b)17世紀前半にはオホーツク海岸に到達することになった。このロシアの東方進出は、アジアの諸国家にも脅威となる。とくに清朝とは領土が近接したためにあつれきが生じた。その結果、1689年には両国の間に【 イ 】が結ばれ、スタノヴォイ山脈とアルグン川が両国の国境線とされた。しかしアルグン川以西の国境は未画定だったため、18世紀に入るとモンゴル方面における国境線がキャフタ条約により、19世紀には、(c)中央アジア方面における国境線が【 ウ 】により確定された。

ロシアの東方進出はこれ以後もとどまることなく、19世紀、清朝がアロー戦争(第2次アヘン戦争)で敗北すると、これに乗じて1858年にはアムール川(黒竜江)を国境とするアイグン条約を、そしてさらにその2年後には、アイグン条約では両国の共同管理と定められていたウスリー川以東、アムール川以南の地である沿海州を自国領とする【 エ 】を結んだ。これにより、ロシアは冬季でも凍結しない海域を確保することに成功し、同年、東シベリア総督ムラヴィヨフに命じて【 オ 】港の建設の着手するのである。また、オホーツク海域の千島列島やサハリン島にも進出し、1875年、沿海州に面したサハリン島を【 カ 】条約により獲得する。19世紀を代表するロシアの作家チェーホフがサハリンを旅するのは、19世紀も末、1890年のことである。

問1. 空欄【 ア 】～【 カ 】に適当な語句を入れよ。

問2. 下線部(a)に関して、イェルマークを派遣した人物の名と、その人物の事績を一つ記せ。

問3. 下線部(b)に関して、この時代に成立したロシアの王朝の名を記せ。

問4. 下線部(c)に関して、19世紀のロシアの中央アジア進出について説明せよ。(85字)

2014 新潟大学

【9】 西アジアにおける暦の歴史を概観すると、古代メソポタミアや古代エジプトで暦の発達が見られ、のちにヨーロッパへ多大な影響を与えた。また、7世紀にイスラーム教徒は独自の暦を作り出し、その暦は他の暦と併用されつつ広く用いられてきた。近代になって、西アジアの多くの地域には西暦も導入され、複数の暦が併存する状態となっている。

下線部に関して、古代メソポタミアと古代エジプトにおける暦とその発達の背景について、90字以内で説明しなさい。

2007 東京大学

【10】 次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

中国の伝統学術と言えば、何と言っても儒学(儒教)こそがその中心に位置していようが、その創始者孔子は、最初から「聖人」だったわけではない。生前の彼は、自らの理想を諸侯に説いたが容れられず、「喪家之狗」(野良犬)とさえ評されたのである。彼を始祖とする儒家は、戦国時代を通じて諸子百家の一に過ぎなかったし、(1)さらに降って前漢期に至っても、その地位は他と隔絶した絶対的なものでは必ずしもなかった。とはいえ漢の武帝が董仲舒の献策を入れて儒学を正統教学としたことは、儒学の地位を飛躍的に高めるものであったし、後漢になると儒学は礼教として、社会の隅々にまで浸透した。

漢帝国が崩壊した後、中国は南北朝の時代、すなわち大分裂時代に入るが、この時代はイデオロギーの面でも顕著な分裂が見られた時期であった。儒教は相変わらず皇帝体制を支える正統教学として尊重されはしたが、皇帝や貴族の内面を捉えたのはむしろ仏教や道教であったし、その思想的な活力もいちじるしく低下した。(2)当時は中国史全体を通じてもっとも宗教的な時代ということができ、ために後世の儒者の評価では、価値観の混迷が極まった暗黒時代となるのであった。

中国の統一が再び実現した隋唐時代に入っても、儒教はなお低迷から抜け出せなかったが、宋代に至って様相は一変した。貴族にかわって新しく社会の主人公となった(3)士大夫は、自らにふさわしい新しい世界観の形成を追求し、12世紀に至ってついに朱子学を成立せしめた。これは単に中国史上の大事件というに止まらず、東アジア規模の世界的な大事件であった。

問1. 統一秦帝国においては政権を支える体制イデオロギーとなり、漢代に入っても重要な政治思想であり続けた学派、および漢初に在ってはこの学派と儒家に並んで有力であった学派の名前を挙げ、それぞれの主張を説明しなさい。

問2. 南北朝期における仏教、道教の隆盛を、事実を挙げつつ説明しなさい。

問3. ここでいう士大夫とはどのような人々であるのか、説明しなさい。(85字)

2017 名古屋大学

【11】 名譽革命後のイギリスの議会政治の特徴について90字以内で説明しなさい。ただし、句読点を字数に含む。

2012 高崎経済大学

以下の設問に答えなさい

- 【12】 9世紀ごろになると、アッバース朝カリフの周辺にはトルコ人の姿が目立つようになった。彼らはアラビア語で何とよばれ、カリフは彼らをどのように用いたのか、60字程度で説明しなさい。

東京大学

- 【13】 『百科全書』について述べた次の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で記入しなさい。

数学者・物理学者の【ア】や、エカチェリーナ2世とも交遊のあった哲学者・作家の【イ】らが編集した『百科全書』は、近代的理性に基づく科学・技術や思想の体系化をめざし、新たな時代の基礎となった。多数の執筆者のなかには、【a】、【b】などの著名な思想家が含まれていた。【ア】が執筆した「百科全書序論」には、近代的学問の発展に寄与した人物の業績が紹介されている。(A)スコラ学を越えて哲学を発展させた代表的人物としてフランシス=ベーコンを取り上げ、次いで、哲学者であり、かつ幾何学に代数学を適用した功績をもつ【c】について述べている。また、万有引力の法則を発見したニュートンに加えて、惑星の運行法則を発見したドイツの【d】、天文学、力学で業績のあったイタリアの【e】、血液循環の仕組みを発見したイギリスの【f】らの名が挙げられている。

問1. 上の文章中の【ア】、【イ】に入る人名を記入しなさい。

問2. 下の史料Aは上の文章中の【a】の、史料Bは上の文章中の【b】の、史料Cは上の文章中の【c】の人物の著作からの引用である(出典は解答の参考となるため省略した)。これらの史料を参考にして、【a】～【c】に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～6からそれぞれ選びなさい。

1. ヴォルテール
2. デカルト
3. パスカル
4. ホッブズ
5. モンテスキュー
6. ロック

史料A

中間的、従属的そして依存的な諸権力が君主政体、すなわち、基本的諸法律によって一人が支配する政体の本性を構成する。……最も自然な従属的・中間権力は貴族の権力である。貴族はどのような態様においてであれ君主政の本質の中に含まれるのであり、その基本的格率は次のごとくである。君主なくして貴族なく、貴族なくして君主なし。もっとも、世には専制君主というものはある。

史料B

自由人としてイギリス人は、自分の気に入った道を通して天国へ行く。……フランスでは、放蕩三昧で世間に知られ、色事を利用して司教の地位に登った若造が、……恋唄をつくって浮かれ興じ、毎日のごちそうの並んだ晩餐会を延々と続け、そしてその席から聖霊の光を祈願しに出かけたり、厚かましくも使徒の後継者であると名のつたりするという話を聞いては、イギリスの聖職者たちも自分らがプロテスタントであることを神に感謝することであろう。

史料C

……私は、それまでに私の精神に入りきたったすべてのものは、私の夢の幻想と同様に、真ならぬものである、と仮想しようと決心した。しかしながら、そうするとただちに、私は気づいた。私がこのように、すべては偽である、と考えている間も、そう考えている私は、必然的に何ものかではなければならぬ、と。

問3. 上の文章中の【d】～【f】に入れるのにもっとも適切な人名を次の1～6からそれぞれ選びなさい。

1. ガリレイ
2. ケプラー
3. ハーヴェイ
4. ボイル
5. ラヴォワジエ
6. リンネ

問4. 下線部Aのスコラ学の「普遍論争」とは何か。2つの対立する説の名称とそれぞれの主張者を1名挙げて、説明しなさい。(80字)

2012 慶應義塾大学 経済学部

以下の設問に答えなさい

- 【14】 地中海は、西は(1)ジブラルタル海峡で大西洋に接し、東はダーダネルス海峡とボスフォラス海峡を経てマルマラ海・黒海に接する。1869年に【 A 】が開通すると、紅海を経由してインド洋にもつながった。紀元前1世紀、ローマ帝国は地中海世界のほぼ全域を統一し、その支配下においた。しかしながら、広大な領域を統一支配することは困難で、284年に即位した【 B 】帝は(2)四帝分治制(テトラルキア)を制定し、諸改革を断行して政治秩序を回復した。その政策を受け継いだコンスタンティヌス帝は帝国の再統一をはかり、統一の維持のために宗教的寛容政策をとってキリスト教を公認した。その後キリスト教は帝国の保護を受け、392年に国家宗教と定められて他の宗教が禁じられた結果、地中海世界は急速に(3)キリスト教化した。

しかし、7世紀前半にイスラームが勃興すると、地中海世界の大半はムスリムの支配領域に組み込まれ、その後(4)イスラーム化が進行した。イベリア半島における(5)国土回復運動(レコンキスタ)の進展やシリアにおける十字軍国家の成立などによって、地中海世界のキリスト教徒とムスリムの勢力圏には変化が見られたが、1291年にシリアの十字軍国家が消滅すると、地中海世界の東部と南部におけるムスリムの支配領域は確立した。13世紀末にアナトリア半島西北部から興ったオスマン帝国は、アナトリア半島や(6)バルカン半島、さらに東ヨーロッパに勢力を拡大した。1453年に【 C 】を征服して新都とし、16世紀後半にはシリア、エジプトから北アフリカに覇権を拡大、1538年の【 D 】海戦で地中海の制海権を握って一大帝国を築き上げた。

問1. 空欄【 A 】～【 D 】に適当な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、この海峡に面した港町タンジェ(タンジール)で1905年に起こった第1次モロッコ事件について当時の国際関係を視野に入れて説明しなさい。

問3. 下線部(2)について、(ア)四帝分治制(テトラルキア)の具体的内容と、(イ)この時代のキリスト教徒迫害の理由を簡潔に説明しなさい。

問4. 下線部(3)について、(ア)10世紀末に改宗してキリスト教を国教としたキエフ公国の君主の名前と、(イ)彼が受け入れたキリスト教宗派の名称を答えなさい。

問5. 下線部(4)について、(ア)8世紀以降、ムスリム商人が金を求めてサハラ砂漠を縦断して往来した西アフリカの国家の名称、(イ)11世紀にその国家を攻撃して衰退させたムスリム王朝の名称、(ウ)その後に西アフリカに相次いで興った2つのムスリム国家の名称、(エ)西アフリカのイスラーム文化・学術の中心となった都市名を答えなさい。

問6. 下線部(5)について、(ア)1492年にスペイン王国に滅ぼされたイベリア半島最後のムスリム王朝の名称、(イ)その首都の名称、(ウ)その王朝が首都に建設した宮殿の名称を答えなさい。

問7. 下線部(6)について、バルカン半島における王国建国から14世紀末にオスマン帝国に征服されるまでのブルガール人の歴史を説明しなさい。(90字)

2015 北海道大学

- 【15】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

17世紀のヨーロッパは、気候の寒冷化を背景に、凶作や疫病の発生、人口減少などにより政治、経済、社会の広範な領域で危機の時代を迎えた。神聖ローマ帝国内に大小の領邦が分立していたドイツにおける相次ぐ戦乱は、この「17世紀の危機」の一つのあらわれであった。【 a 】年にベーメン(ボヘミア)の新教徒(プロテスタント)貴族たちが、旧教徒(カトリック)の君主フェルディナントに対して起こした反乱をきっかけに生じたのが【 b 】である。両者の対立軸の一つは、宗派的対立であり、神聖ローマ皇帝とそれを支持したスペインに対する新教徒の諸侯及び新教国【 c 】の戦いであった。皇帝軍が勝利したのち、バルト海の覇権をめざした【 d 】が参戦すると、旧教国フランスも【 d 】を支持して新教勢力にくみする事態となり、宗派对立をこえた国家間の争いとなったのである。(1)【 e 】条約によって終結したこの長期にわたる戦争以後、主権国家体制が確立され、新たな国家秩序が形成されることになった。

この戦争の時代に急速に成長した国家がオランダとイギリスである。1581年にスペインから独立を宣言し、バルト海での中継貿易で富を蓄えたオランダは、17世紀に入ると、(2)1602年に東インド会社を設立して東南アジアへと進出していった。首都の【 f 】は、アントウェルペン(アントワープ)に取って代わり、17世紀の国際商業・金融市場の中心となる。(3)この時期にオランダは、学問・文化においても全盛期を迎え、「オランダの世紀」とも言われる繁栄を迎えることとなった。

他方、(4)チューダー朝の下で王権が強化されたイギリスも、1600年に東インド会社を設立して海外へ進出し、17世紀後半には、3次にわたるオランダとの戦争を通じて世界貿易の覇権を握ることになるのである。

問1. 空欄【 a 】～【 f 】に適切な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、オランダの他に、この条約で正式に独立を認められた国の名を一つ記しなさい。

問3. 下線部(2)について、この時代のオランダの東南アジア貿易の展開過程を100字以内で説明しなさい。

問4. 下線部(3)について、この時代のオランダを代表する思想家と画家の名前をそれぞれ一人記しなさい。

問5. 下線部(4)について、17世紀におけるイギリスの北アメリカへの進出過程について、以下の語句をすべて用いて80字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

ヴァージニア ニューイングランド ニューヨーク

2013 首都大学東京

以下の設問に答えなさい

- 【16】 西暦750年、イスラーム教の預言者ムハンマドの叔父の子孫である【 a 】家はウマイヤ朝を打倒し、新たな王朝を開いた。【 b 】人優位の(1)社会体制は変革され、改宗者も軍人・官僚・文化人として社会的に活躍した。中央集権的な体制を確立した第2代カリフのマンスールは、イラク平原の中心に円形の首都【 c 】を建設した。以降、1258年に【 d 】率いるモンゴル軍に征服されるまでのほとんどの期間、【 c 】はイスラーム帝国の首都として繁栄した。

【 c 】には【 e 】門、【 f 】門、クーファ門、【 g 】門の4つの城門が存在した。【 e 】は、【 a 】朝が打倒したウマイヤ朝の中心地域であり、地中海世界と接続する要衝である。【 f 】は【 a 】朝建国の原動力となった軍事力を提供した重要な地方であり、(2)中央アジアやアフガニスタンなど内陸アジアを通して中国やインドと陸路でつながっていた。クーファと【 g 】はともにイスラーム教勃興期に【 h 】と呼ばれる軍営都市から発展した。クーファは聖地メッカ(マッカ)方面に向かう、アラビア半島からアフリカ方面に抜ける道に位置していた。【 g 】はペルシャ湾に面する港湾都市であり、インド洋へ抜ける海の道への玄関口であった。【 g 】は今日でも【 i 】共和国で有数の人口を擁する大都市である。

海路と陸路を結んだ広域ネットワークに支えられた商業活動は、イスラーム帝国の都に莫大な富をもたらした。都市生活を支える社会インフラの整備が進み、(3)学術活動も盛んに行われた。交通路の発達により、人の往来も盛んになり、学問の発達に好ましい環境が整えられていったことで、イスラーム文明は成熟していった。こうした広域ネットワークにより、イスラーム教はアフリカや東南アジアなど世界各地に伝播していったのである。【 a 】朝が滅んだ後であるが、モロッコ出身の【 j 】は、20年以上にも及ぶ旅行を無事に終え、故郷で『三大陸周遊記』を著した。彼はインドや中国など世界各地でイスラーム教徒のネットワークとアラビア語の助けを借りて旅を続けることができた。

問1. 空欄【 a 】～【 j 】に適切な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、【 b 】人の税制面での優遇廃止が確定したが、ジズヤとハラージュの語を用いて70字以内で具体的に税制の変化を説明しなさい。

問3. 下線部(2)について、751年に唐との間で起こった戦いの名称を記しなさい。また、この戦いを契機にイスラーム世界へ伝わったとされている新しい技術の名称を記しなさい。

問4. 下線部(3)について、イスラーム帝国下で栄えた学問は、固有の学問と外来の学問に分かれるが具体的な学問の名称について挙げながら、固有の学問と外来の学問の違いについて80字以内で説明しなさい。

2013 首都大学東京

- 【17】 次の文章を読み、問に答えよ。

A. エジプトでは、自由将校団と呼ばれる軍の将校たちが王朝を打倒し、共和国を樹立した。やがてこの軍人たちのなかから【 ア 】が大統領になると、ソヴィエトを中心とする社会主義陣営に接近して、イギリス、アメリカなどと対立し、国の近代化のためにアスワン=ハイダム建設を目指した。この大統領はダム建設のため【 イ 】の国有化を宣言した。この動きに対して、イギリス、フランスなどの国々は、エジプトと武力衝突に至った。しかし、アメリカ、ソヴィエトをはじめとして、国際社会はイギリス、フランスなどの行動に批判的であったため、やがてこれらの国々は軍を撤退させた。以後、このエジプト大統領は、アラブ民主主義の指導書として名を馳せることとなった。

B. エジプトなどアラブ諸国は、第二次世界大戦の終結の直前に【 ウ 】を結成して、アラブ人、ユダヤ人が居住していたため、大戦後まもなく国際連合によって、アラブ人、ユダヤ人双方への領土分割案が示された。ユダヤ人たちはこれを受け入れて【 エ 】の建国を宣言したが、(a)周辺アラブ諸国はこれを受け入れず、ユダヤ人たちと戦争になった。アラブ側は軍事的に敗北して、(b)パレスチナから追放された多くの難民たちは、パレスチナ奪還のために、ユダヤ人たちへの闘争に従事した。

C. サダトはエジプト大統領に就任してから、長年の宿敵であった【 エ 】に軍事的反撃を試みたが成功することはなかった。このあとサダトは和解の路線に転じて、アメリカの仲介により、【 オ 】条約が締結されてシナイ半島はエジプトに返還された。サダトはこの和平政策に反対する国内のイスラム過激派によって暗殺されたが、彼の後継者であるムバラクはその路線を引き継いだ。

D. イギリスは第一次世界大戦中、【 カ 】協定によってアラブ人にトルコからの独立を約束したが、ユダヤ人には【 キ 】宣言によって、(c)シオニズムと呼ばれるパレスチナへの復帰運動を支持する姿勢を示した。アラブ人とユダヤ人の領邦から協力を得ようとしたイギリスの二枚舌外交も原因となり、パレスチナでは今日まで紛争が続いている。

問1. 空欄【 ア 】～【 カ 】に適当な語句を入れよ。

問2. 下線部(a)に関して、この戦争の名を記せ。

問3. 下線部(b)に関して、1964年に結成され、後にアラファト議長によって率いられた組織の名を記せ。

問4. 下線部(c)に関して、この運動の発端であり、1890年代のフランスで起こった反ユダヤ主義に影響された事件の名を記せ。またその時の被害者であるユダヤ人を擁護したフランス人作家の名前を記せ。さらに、この事件の経緯について80字以内で説明せよ。

2016 新潟大学

以下の設問に答えなさい

【18】 次の文は、1911年にキリスト教思想家の内村鑑三(1861-1930年)によって行われた講演を活字化したもので、戦後日本の復興期には「みどりの野」という題でその内容が世に知られることとなったものである。この文を読んで、以下の問に答えなさい。(なお出題にあたって原文を適宜改めている。)

しかるに今を去る四十年前の【 A 】はもっとも憐れなる国でありました。一八六四年にドイツ、オーストリアの二強国の圧迫するところとなり、その要求を拒みし結果、ついに開戦の不幸を見、【 A 】人は善く戦いましたが、しかし弱はもって強に勝つ能わず、デッペルの一戦(注)に北軍敗れてふたたび起つ能わざるにいたりました。【 A 】は和を乞いました。しかして敗北の賠償としてドイツ、オーストリアの二国に南部最良の二州【 B 】を割譲しました。戦争はここに終りを告げました。しかし【 A 】はこれがために窮困の極に達しました。(略)【 A 】人は戦いに敗れて家に還ってきました。還りきたれば国は荒れ、財は尽き、見るものとして悲憤失望の種ならざるはなしでありました。(略)しかるにここに彼らのなかに一人の工兵士官がありました。彼の名をダルガスといいまして、フランス種の【 A 】人でありました。(1)彼の祖先は有名なる【 C 】の一人でありまして、彼らは一六八五年信仰自由のゆえをもって故国フランスを逐われ、あるいは英国に、あるいはオランダに、あるいはプロイセンに、またあるいは【 A 】に逃れ来たりし者でありました。

【 C 】の人はいたるところに自由と熱信と勤勉とを運びました。(略)しかして十九世紀の末に当って彼らはいまだなおその祖先の精神を失わなかったのであります。ダルガス、年齢は今三十六歳、工兵士官として戦争に臨み、橋を架し道路を築き、溝を掘るの際、彼は細かに彼の故国の地質を研究しました。しかして戦争いまだ終らざるに彼はすでに彼の胸中に故国回復の策を蓄えました。すなわち【 A 】国の欧州大陸に連なる部分にして、その領土の大部分を占むるユトランドの荒漠を化してこれを沃饒の地となさんとの大計画を、彼はすでに彼の胸中に蓄えました。ゆえに戦い敗れて彼の同僚が絶望に圧せられてその故国に帰り来たりしときに、ダルガス一人はその面に微笑みを湛えその首に希望の春を戴きました。「今や【 A 】にとり悪しき日なり」と彼の同僚はいいました。「まことにしかり」とダルガスは答えました。「しかしながらわれらは外に失いしところのものを内において取り返すを得べし、君らと余との生存中にわれらはユトランドの曠野を化して薔薇の花咲くところとなすを得べし」と彼は続いて答えました。(略)彼は彼の国人が剣をもって失ったものを鋤をもって取り返さんとししました。(2)今や敵国に対して復讐戦を計画するにあらず、鋤と鍬とをもって残る領土の曠漠と闘い、これを田園と化して敵に奪われしものを補わんとしました。

(注)1864年4月18日に戦われたドゥッブル堡壘の戦いのこと。

問1. 空欄【 A 】に入る国名と空欄【 B 】に入る地名を答えなさい。

問2. 下線部(1)の内容は、16～17世紀のヨーロッパにおける政治権力が、さまざまな宗教的変動を経験しながら、最終的にはキリスト教のいずれかの宗派を自ら統治する領域の公認信仰とし、それ以外の宗派を排除する傾向をもっていたことを示している。そこで、空欄【 C 】に入る名称を答えた上で、下線部(1)の事態に至った歴史的経緯を述べなさい。(100字)

問3. 下線部(2)のように内村鑑三が紹介したA国は、第一次世界大戦に参加しなかったにもかかわらず、1919年に締結されたヴェルサイユ条約の規定により1920年に実施された住民投票を通じて、ドイツとの国境線を改めた。また、第一次世界大戦後のヨーロッパでは、アメリカ合衆国のウィルソン大統領が1918年に発表した14カ条の原則にうたわれた考えに基づいて、新たな平和構築への取り組みも見られた。

(a) 第一次世界大戦で敗戦国となったドイツは、1918年に独立を回復したポーランドに対しても、ポーランドがバルト海へ出口を確保するための領域(いわゆるポーランド回廊)を割譲することとなった。ドイツがこの地域を含むバルト海の南東部に領土を有した中世以来の経緯を述べなさい。(100字)

(b) 世界最初の集団安全保障による平和維持組織として発足した国際連盟は、ヨーロッパにおける紛争を未然に防ぐ目的でヨーロッパ諸国間の係争地を管理下に置いた。ザール地方はその一例である。ヨーロッパにおける平和構築との関係に留意しながら、第二次世界大戦後のザール地方の取り扱いについて述べなさい。(80字)

2015 大阪大学



以下の設問に答えなさい

【19】 儒者の考え方によれば、中国の歴史は封建の時代と(1)郡県の時代に分けられるのであるが、後者はまた皇帝の時代と言ってもよいだろう。ただし同じ皇帝の時代と言っても、国家のあり方にはむろん変化があり、基本的な傾向としては、皇帝への権力集中がしだいに進んでいったのであった。

豪族、貴族が社会の主人公であった時代、皇帝がその権力を執行するには、彼らと合議し、その同意を取りつけることが必要であった。貴族制時代の後期、国家の官僚体系の外に在っては、もはや貴族も自らの高貴性を維持しがたくなっていた唐代に至っても、彼らはなお皇帝の権力を牽制しえたのである。唐朝国家の最高機関は(2)三省であるが、そのうちには帝権を牽制しうる機能がそなわっていた。

これが宋代になると、三省制度は崩壊し、宰相の権限も副宰相の設置などを通じて分散され、また軍事についても指揮権と統帥権を分離するなど、さまざまな措置を講じてあらゆる権限を皇帝に集中させ、政務のすべてにつき皇帝が最終決定権を握る体制となった。

こうした皇帝への権力集中は、明初に至ってついに(3)制度的完成を見た。そしてこの明初に確立された体制は、満洲族皇帝をいただく清朝に入っても、むろんいくらかの改変は加えられたが、基本的にはそのまま継承され、皇帝制が廃絶されるまで維持されたのである。

問1. 下線部(1)について。「郡県」制とはどのような制度か、またそれは何世紀から何世紀まで続いたのかを答えなさい。

問2. 下線部(2)について。三省それぞれの名称とその職務を説明しなさい。

問3. 下線部(3)について。この「制度的完成」を端的に示す事例を挙げなさい。またそれはいつ、誰によって成し遂げられたことか答えなさい。なお「いつ」については、何世紀の前半もしくは後半という形で記し、全部で60字以内で説明すること。

2015 名古屋大学

【20】 【 A 】年10月29～30日の夜、突如、イスラエル軍がエジプト領の【 B 】半島に侵略を開始し、スエズ運河方面に向かった。イギリス・フランス両国はイスラエルとエジプトに最後通牒を発し、拒否したエジプトを空爆し、さらに11月5日、スエズ運河に上陸した。しかし、ただちに(イ)アジア・アフリカ諸国やソ連などから抗議の声があがり、アメリカからも出兵への明確な支援がなく、(ロ)国際連合の場では、11月2日、緊急特別総会で即時停戦決議が採択された。こうした四面楚歌の状況を見て、イギリス・フランス・イスラエルは短期日のうちに停戦(11月7日発効)受入れを余儀なくされた。翌年3月のイスラエルの【 B 】半島からの最終的撤兵で終わったこの出来事は、一般にスエズ戦争、スエズ出兵、スエズ動乱などと呼ばれる。

問1. 空欄【 A 】・【 B 】に最も適当と思われる語を入れなさい。

問2. 下線部(イ)について ソ連はこの3国のエジプトへの軍事介入について非難しつつ、自らもちょうど同じ10月下旬から11月初旬、他国へ軍事介入し、その国の自由化運動を武力でおさえ、政府要人を拘束した。この事件は何と呼ばれますか。

問3. 下線部(ロ)について 国際連合において、世界の平和と安全の維持を任務とするべき安全保障理事会ではなくて、総会でこの決議がなされたのは、なぜですか。(85字)

2007 津田塾大学 学芸学部(国際関係・改)

以下の設問に答えなさい

【21】 次の文章を読み、問に答えよ。

A. 16世紀、女真は、テンの毛皮や朝鮮人参の交易を通じて勢力を伸ばしたが、これらの産品は中国で大いに珍重された。その後、(a)ヌルハチが女真を統一し、1616年【 ア 】が成立した。ヌルハチのあとを継いだホンタイジは、モンゴル系のホルチンやチャハル部を配下におき、1636年国号を大清と定め、大ハンを名のつたが、この名称は(b)モンゴル帝国時代にさかのぼることができる。1644年、【 イ 】の乱により明朝が滅びると、清軍は(c)山海関を経て北京に入城し、明朝に代わる大帝国を打ち立てていくこととなる。

B. 18世紀の中国では、人口が急増したことで、社会の流動化が進んだ。その背景には、商品作物の作付けが拡大したことや、(d)銀の流通増加があった。漢人農民は農地をもとめて周辺部に移住したが、そこではさまざまな問題が引き起こされた。たとえば耕地の不足により、四川、陝西、湖北地域では、1796年に大規模な【 ウ 】の乱が起きている。また、人口増加を受けて広東や福建など南部では、東南アジアなど海外へ渡航・移住する人々が増加したが、彼らは【 エ 】と称される。人の移動が増える一方で、18世紀なかば、乾隆帝はヨーロッパ船の来航を【 オ 】に限定して、(e)対外貿易を制限した。

C. 19世紀なかばより、清朝の官僚たちは富国強兵をめざして、ヨーロッパの近代技術を国内に導入しようとした。この運動を【 カ 】とよんだ。これを機会に、国内では鉱山開発や運輸事業が伸展し、1880年代には紡績工場が設立された。しかしながら1884年、清朝はフランスとの戦争を開始し、翌年には【 キ 】条約を締結する。さらに清朝は1894年の日清戦争でも敗北を喫し、(f)下関条約を結んだ。

問1. 空欄【 ア 】～【 キ 】に適切な語句を入れよ。

問2. 下線部(a)に関して、ヌルハチが実装した独自の政策を2つ記せ。

問3. 下線部(b)に関連して、13世紀のモンゴル帝国では、東西交流が発展したが、それを支えた通信・交通システムの名称を記せ。

問4. 下線部(c)に関して、この場所を防備していた明の将軍は、清の支配に下ったあと、1673年から反乱を起こしたが、将軍の名前と反乱の名称を記せ。

問5. 下線部(d)に関連して、18世紀初めに清朝で実施された税制度の名称と、その内容について30字以内で記せ。

問6. 下線部(e)に関連して、1792年にイギリスは清へ使節を派遣したが、その人物は翌1793年、熱河離宮で乾隆帝に謁見を許された。派遣された人物の名前と派遣の目的について記せ。

問7. 下線部(f)に関して、日本が清に認めさせた下関条約の内容を80字以内で説明せよ。

2016 新潟大学

【22】 武装中立同盟の内容を90字以内で説明しなさい。ただし句読点を字数に含む。

2012 高崎経済大学

【23】 北京は、伝統的都城の上に成り立った近代都市である。古くは(1)周から戦国時代にかけて、燕がこの地域に拠点を築いた。今日に続く都城としての発展は、10世紀に北方民族の契丹が、五代の後晋から、華北の【 A 】と呼ばれる地域を獲得し、(2)国号を遼として、ここに都の1つを置いたことを端緒とする。その後、元の【 B 】が大都として整備し、また明では永楽帝が(3)この地への遷都を断行し、(4)王朝の首都として発展する礎が築かれた。続く清は、独自の精鋭軍である【 C 】を周囲に置いて防衛の備えとし、清末には新軍も創設されるが、(5)1900年に列強各国の攻撃を受けると、北京城はあえなく占領された。

1912年に中華民国が南京で成立するが、その後、清の宣統帝の退位を受けて、北京で【 D 】が第二代臨時大總統に就任した。以後、軍閥の交替の中で(6)北京を政府の所在地とする中華民国政府(北京政府)が存続することになる。それが崩壊した1928年、北京は中国国民党の【 E 】が実権を握る南京国民政府の統治下に入り、北平と改称された。

問1. 空欄【 A 】～【 E 】に適切な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、春秋時代の諸侯間の関係を、「覇者」という語句を用い、簡潔に説明しなさい。

問3. 下線部(2)について、その国家体制の特徴を簡潔に説明しなさい。

問4. 下線部(3)について、その原因の1つとなった事件を何と呼ぶか、答えなさい。

問5. 下線部(4)について、(ア)明末の北京に暮らした西洋人キリスト教宣教師の名前を答え、(イ)この時期の中国でキリスト教の布教が進められるようになった経緯を、「プロテスタント」「ポルトガル」の2つの語句を用い、説明しなさい。

問6. 下線部(5)について、(ア)北京攻撃の原因となった出来事と、(イ)清と列強諸国の間で結ばれた取り決めの名称を、それぞれ答えなさい。

問7. 下線部(6)について、中華民国は第一次世界大戦に参戦し戦勝国となったが、それは結果的に日本との摩擦を浮き彫りにした。「ドイツ」という語句を用い、これを説明しなさい。(95字)

2012 北海道大学

以下の設問に答えなさい

- 【24】 インド亜大陸北西部に位置し、アラビア海に面するグジャラート州は、インド独立の父として知られる(1)ガンディーの出身地であるが、古来、西アジアとの公益拠点であり、(2)インダス文明時代から港湾都市が栄えていたことが跡づけられている。アラビア海、インド洋、東南アジア海域にいたる海洋ルートでは、古くから【 A 】を利用した海洋交易が盛んであった。紀元1世紀頃に書かれた【 B 】は、このルートの遠洋航海を行うための案内書で、交易品や各地の特産品などローマ時代のインド洋交易事情を詳しく伝えている。7世紀末から8世紀頃になると、アラブ系やイラン系の(3)ムスリム商人が、【 C 】船を駆使して、インド洋交易に活躍するようになったが、彼らの活動はイスラーム教の拡大にも寄与した。14世紀末頃に成立した【 D 】は、国王がイスラーム教に改宗して、西方のイスラーム世界との関係を深めて交易国家として繁栄し、東南アジアにおけるイスラーム教布教の拠点ともなった。一方、インド内陸部におけるイスラーム教の拡大の契機となったのは、アフガニスタンからのガズナ朝の侵入であるといわれている。13世紀末になると、グジャラート州もイスラーム教徒の支配下に置かれ、後にムガル朝によって併合された。

問1. 空欄A～Dに適当な語句を入れなさい。

問2. 下線部(1)について、(ア)1919年にイギリスがインド支配のために制定した法律名、(イ)ガンディーが第1次世界大戦後に参加した政党名、(ウ)ガンディーが提唱した抵抗運動の理念(方法)を答えなさい。

問3. 下線部(2)について、(ア)この文明の代表的な都市遺跡の名称と、(イ)この文明が滅亡した後に、インドに侵入してきた人々の名称を答えなさい。

問4. 下線部(3)について、10世紀頃から15世紀頃までのムスリム商人の東アフリカ沿岸部における活動とその文化的影響を簡潔に説明しなさい。(85字)

2009 北海道大学

- 【25】 被支配民族の宗教や慣習に寛容であったアケメネス朝ペルシアでは、さまざまな言語と文字が使用された。主要な言語・文字の使用状況について、次の用語をすべて使用して簡潔に述べなさい。ただしその際、どの言語がどの文字で表記されたかに留意すること。(80字)

古代ペルシア語    楔形文字    共通語

2011 大阪大学

以下の設問に答えなさい

【26】 次のA～Eの文章は、19世紀のアメリカ合衆国の歴史に関わる史料である。よく読んで以下の問に答えなさい。

- A. 最近の国勢調査局長の報告書には、(1)つぎのような意味深い言葉が見られる。...(中略)...この簡単な公式声明は一つの大きな歴史的運動の終わりを示している。今日にいたるまで、アメリカ史は大部分、大西部への植民の歴史であった。自由な土地からなる地域が存在したこと、それがたえず後退を続けたこと、そしてアメリカ人の開拓地が西方へ前進していったこと、これらがアメリカの発展を説明するのである。(平野孝訳)
- B. 今こそ、(2)テキサス併合への反対をやめるべきときである。...(中略)...連邦議会のつぎの会期には、新たに連邦に加入した若いテキサス州の議員が上下両院の議場で、古い独立13州の議員と肩を並べて議席に座る姿が見られるであろう。(富田虎夫訳)
- C. 明敏な(3)フランス政府は、米仏両国の平和と友好と利益を最もよく永久的に増進するような寛大な協定が、両国にとっていかに重要であるかを正確な洞察力をもって見抜きました。...(中略)...全レイジアナの財産と主権は、去る4月30日付の公文書によって、一定の条件にもとづいて合衆国へ委譲されたのであります。(富田虎夫訳)
- D. 白人定着地から離れた土地へインディアンを移住させることに関して、過去30年近く着々と進められてきた合衆国政府の博愛的な政策がめでたく完成に近づきつつある、ここに議会に報告できることは、私の喜びとするところである。(平野孝訳)
- E. 合衆国に対して反乱の状態にある州、もしくは州の一部が反乱状態にあると見なされる地域で、(4)奴隷として所有されているすべての人びとはその日以降永久に自由を与えられる。合衆国陸海軍を統括する合衆国政府は、それらの人びとの自由を承認しかつ保護するであろう。(長田豊臣訳)

問1. A～Eの史料を時代順に並べなさい。

問2. A～Eの史料は、それぞれ(い)～(ほ)のどれに当たるか、記号で答えなさい。

(い)ジョン・L・オサリヴァン「併合論」

(ろ)ジャクソン大統領の教書

(は)リンカン大統領の奴隷解放宣言

(に)フレデリック・J・ターナー「アメリカ史におけるフロンティアの意義」

(ほ)ジェファソン大統領の教書

問3 史料中の下線部(1)～(4)について、次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(1)はどのような内容と推測されるか、簡潔に記しなさい。

(2) 下線部(2)などが原因となって生じた戦争の名と、その結果を簡潔に記しなさい。

(3) 下線部(3)について、当時、政権の中心にあった人物の名を記しなさい。

(4) 下線部(4)に関連して、これらの人びとがこの史料の出来事以降、たどった歴史について、現在までを射程に入れて述べなさい。(95字)

2008 名古屋大学

【27】 8世紀なかばにアッバース朝が成立すると、その首都【 ア 】は国際商業の中心地となっていった。ムスリム商人によるインド洋交易も活発化し、彼らは【 イ 】船とよばれる三角帆の木造船によって東アフリカ、インド、東南アジア、中国へと至った。アイユーブ朝やマムルーク朝の時代になると、その首都カイロが東西交易の中心地として繁栄した。

問1. 【 イ 】に適切な語句を入れよ。

問2. アッバース朝に関して、アッバース朝の性格をウマイヤ朝と比較して、90字以内で述べよ。解答にあたっては次の枠内の語句をすべて用いること。枠内の語句は何度用いてもよい。

地租 人頭税 アラブ人

2010 新潟大学

【28】 ナポレオンの大陸支配は、フランス革命の理念を各国に広めたが、同時に侵略者フランスに対抗するナショナリズムをめばえさせるなど、国民国家形成の動きを促した。プロイセンでは、どのような動きがおこったか、80字以内で説明せよ。ただし句読点は1字とせよ。

2011 成城大学 文芸学部

以下の設問に答えなさい

【29】 次の文章を読み、問いに答えなさい。

オーストリアの首都ウィーンの歴史は、ローマ帝国の時代にさかのぼることができる。(1)ローマ帝国は紀元100年頃、ケルト人の集落ウィンドボナに新たな宿営地を築いた。このウィンドボナで(2)マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝が、180年に死去したことが知られている。5世紀にはフン人やゲルマン人などの侵入によって荒廃したが、11世紀末に始まった(3)十字軍運動の中で、ドナウ川は人や物の移動のルートとして利用され、このことはウィーンの経済的な発展を促した。(4)13世紀後半からオーストリア=ハンガリー帝国の解体に至るまで、ウィーンはハプスブルク家の統治下に置かれた。この間、(5)ペストが繰り返し流行するとともに、さまざまな軍事的攻撃にさらされた。特に(6)15世紀以降、オスマン帝国の攻撃を受け、16世紀と17世紀には2度にわたって包囲された。第2次ウィーン包囲の後、ウィーンの街並みは大きく変化する。旧市街の外側に新たに市壁が造られたことで、旧来の市壁と新市壁の間に大きなスペースが生まれ、ここにベルヴェデーレ宮殿に代表される多くの宮殿が相次いで建築された。19世紀半ばに産業革命を迎えたウィーンの人口は急増し、このため皇帝フランツ=ヨーゼフ1世は、大規模な都市改造を行い、市壁を撤去して環状道路を建設し、この周囲に多くの建造物やモニュメントを配置した。

問1. 下線部(1)について、(ア)この時代のローマ帝国は平和と繁栄が続いたが、これを何と呼ぶか答えなさい。(イ)この頃ローマ帝国の領土は最大になるが、このときの皇帝の名前を答えなさい。

問2. 下線部(2)について、この皇帝の著作を1つあげなさい。

問3. 下線部(3)について、この運動がヨーロッパ社会に与えた影響を説明しなさい。

問4. 下線部(4)について、ハプスブルク家のルドルフ1世の皇帝選出によって大空位時代が終わったが、この大空位時代とはどのような時代なのか説明しなさい。

問5. 下線部(5)について、ペストはこの当時何と呼ばれたか答えなさい。

問6. 下線部(6)について、(ア)第1次ウィーン包囲の時にスレイマン1世と対立したハプスブルク家の君主の名前を答えなさい。また、(イ)この時スレイマン1世が同盟を結んだフランス王の名前を答えなさい。(ウ)第2次ウィーン包囲が、オスマン帝国に与えた影響を説明しなさい。(85字)

2010 北海道大学

【30】 古代インドの「正統派」宗教とも言えるバラモン教(ヒンドゥー教の前身)と、仏教などの「非正統派」宗教、および正統派によって理論づけられたヴァルナの身分秩序(最初期のカースト制度)と王権思想・国家組織、こうした諸要素を一体化した「アーリヤ的社会」が、前五世紀頃までに北インドのガンジス川流域に形成された。この文化的・政治的・社会的な複合体は、その後、長期間をかけてドラヴィダ人の住む南インドにまで伝えられることになる。ドラヴィダ人たちは、言語や生活習慣の諸面で独自性を維持しつつ、北来思想や制度を、必要に応じて改変の手を加えつつ受け入れた。南インドの「アーリヤ化」はこのようにして進められ、この地域も亜大陸内の諸地域とともに、ヒンドゥー世界の中に組み込まれた。こうして形成されたヒンドゥー世界の文化的・政治的・社会的な複合体は、やがてインド亜大陸の境界を越えて、東南アジアにも伝えられ、この地域において国家の形成を促し、また王権の強化や文化の発達に寄与することになる。(山崎元一・石澤良明「南アジア世界・東南アジア世界の形成と展開」『岩波講座世界歴史6 南アジア世界・東南アジア世界の形成と展開』、岩波書店、1999年)

下線部の「ヴァルナの身分秩序」について、説明しなさい。(80字)

2008 名古屋大学

以下の設問に答えなさい

【31】 次の文章を読み、問いに答えなさい。

「戦間期」という語は、平和構築に向けた試みの挫折を前提とした時期区分である。第一次世界大戦後、1919年に開催されたパリ講和会議の基礎となったのは、アメリカ合衆国のウィルソン大統領が1918年に発表した(1)十四カ条であった。だが、この原則はイギリスやフランスが既得権益に固執したことで十分には実現されず、アフリカや(2)アジアの人々を落胆させた。それでも、パリ講和会議の成果はヴェルサイユ条約の調印というかたちで結実した。ヴェルサイユ条約はまた、世界の恒久平和をめざす初めての大規模な国際機構として(3)国際連盟の設置も決定した。

パリ講和会議から生まれた新たな国際秩序であるヴェルサイユ体制と、アメリカ合衆国主導のワシントン体制のふたつが、1920年代の国際協調と軍縮を牽引することになった。フランスによる1923年からのルール占領を経ながらも、1926年にドイツは国際連盟加入を達成している。また、1928年に結ばれた不戦条約は、世界平和を念願する当時の声を反映していた。

だが、国際協調に向けた各国の努力を、1929年10月以降の世界大恐慌は挫くことになった。アメリカ合衆国では、ニューディールという経済復興政策を連邦政府が積極的に推進した。他方、イギリスやフランスはブロック経済を採用することで苦境を乗り切ろうとした。こうしたなか、経済的混乱という間隙をつき、ドイツ国内の支配を確立したのが、ヒトラー率いるナチ党である。国際協調を破って、1935年に再軍備を宣言したドイツが国外に積極的に進出したのに対し、イギリスとフランスは宥和政策で応じたが、第二次世界大戦の勃発を阻止することはできなかった。

問1. 下線部(1)について、そのなかに「秘密外交の廃止」がある。イギリスが第一次世界大戦中に行った秘密外交の代表例である、フセイン(フサイン)・マクマホン協定の内容を簡潔に説明しなさい。

問2. 下線部(2)について、中国では五・四運動が発生した。その経緯を簡潔に説明しなさい。

問3. 下線部(3)について、(ア)その本部が置かれた都市の名称を答えなさい。また国際連盟が抱えていたさまざまな問題を説明しなさい。(95字)

2016 北海道大学

【32】 次の文章をよく読んで、下記の設問に答えなさい。

12世紀の東アジアでは、金・南宋・西夏・高麗などの国が併存・対立していた。

(1)12世紀に建国した金は太宗のとき宋と結んで遼を滅ぼしたが、遼の一族【 ア 】は西方にのがれ、中央アジアに西遼を建てた。金は、やがて南進して宋にせまり、1127年には宋都汴京をおとし入れ、(2)北宋を滅ぼした。金に華北をうばわれると、宋の皇帝(徽宗)の子は江南にのがれ、【 イ 】を都として南宋を建てたのである。しかし南宋は、初めから華北全部を金にうばわれており、南方ベトナムには大越が、雲南には大理が、チベットには吐蕃が、その北には西夏が国を建てていたため、南宋はわずかに淮河以南を領したにすぎず、中国統一国家とはいえなかった。南宋は金に対して【 ウ 】の礼をとり、毎年多くの【 エ 】や銀を贈らねばならなかった。

問1. 文章中の空欄【 ア 】～【 エ 】にあてはまる語を答えなさい。

問2. 下線部(1)に関連して、金代に成立した全真教について説明しなさい。(90字)

問3. 下線部(2)に関連して、北宋の著名な政治家・王安石の新法について説明しなさい。(90字)

2016 福井大学

【33】 アリストテレスは著作『政治学』のなかで国家の政体(国制)の種類をいくつかあげ、最善の国制について論じている。それによると、アテネは伝説上の王政から出発し、貴族政を経て民主政へ移行した。前6世紀末にクレステネスによって民主政の制度的基礎が確立され、前5世紀の後半になるとペリクレスを指導者として民主政が完成した。アリストテレスの検討対象はギリシア世界が中心であるが、すぐれた国制のひとつとしてカルタゴへの言及もみられる。

下線部について、貴族政から民主政への過渡期にアテネはペイシストラトスによる僭主政治を経験している。僭主が出現した背景を簡潔に説明しなさい。(90字)

2017 北海道大学

以下の設問に答えなさい

【34】 次の文章を読み、問いに答えなさい。

アリストテレスは著書『政治学』のなかで国家の政体(国制)の種類をいくつかあげ、最善の国制について論じている。それによると、アテネは伝説上の王政から出発し、(1)貴族政を経て民主政へ移行した。前6世紀末にクレイステネスによって民主政の制度的基盤が確立され、前5世紀の後半になるとペリクレスを指導者として民主政が完成した。アリストテレスの検討対象は(2)ギリシア世界が中心であるが、すぐれた国制のひとつとして(3)カルタゴへの言及もみられる。

他方、ローマもまた王政から出発し、前6世紀の末に共和政へ移行した。ローマの共和政は、アリストテレスの分類でいうと、(4)王政と貴族政と民主政の性格を合わせもつ混合政体とされている。これは(5)貴族(パトリキ)と平民(プレブス)との間の長きにわたる身分闘争の成果であり、このような国制のもとでローマは支配領域の拡大を成し遂げた。だが、前1世紀になるとローマでも政治的混乱が生じ、(6)これを最終的に收拾したオクタウィアヌス(アウグストゥス)により帝政が開始された。

中世の西ヨーロッパにおいて、アリストテレスの著作はその一部しか知られることがなかった。しかし12世紀になるとそれまで知られていなかったアリストテレスの著作の翻訳と紹介が進み、『政治学』も13世紀には翻訳されている。また西ヨーロッパで大学が形成されはじめたのもこの時期である。

問1. 下線部(1)について、貴族政から民主政への過渡期にアテネはペイシストラトスによる僭主政治を経験している。僭主が出現した背景を簡潔に説明しなさい。

問2. 下線部(2)について、スパルタの国制の特徴を先住民支配との関連で説明しなさい。

問3. 下線部(3)について、(ア)カルタゴを建設した民族の名称を答えなさい。また(イ)カルタゴはどこに建設されたか、現在の国名で答えなさい。

問4. 下線部(4)について、(ア)ローマ興隆の原因を混合政体に求めた前2世紀のギリシア人歴史家の名前と、(イ)前1世紀に『国家論』を著し、同じく混合政体論をとらえたローマ人政治家の名前を答えなさい。

問5. 下線部(5)について、(ア)前5世紀初頭、平民のために設置された役職の名称を答えなさい。また(イ)リキニウス・セクスティウス法の政治的な意義について簡潔に説明しなさい。

問6. 下線部(6)について、オクタウィアヌスが樹立した帝政の特質を共和政との関連で簡潔に説明しなさい。(70字)

2017 北海道大学

【35】 中東地域の歴史について述べた次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

アラビア半島で7世紀に興ったイスラーム教は、地中海沿岸地域からアフリカやアジアへと広く普及した。これらすべての地域にまたがる巨大な帝国を築いたのがオスマン帝国である。オスマン帝国が繁栄をきわめた16世紀以降、アジアの他の地域においても強大なイスラーム国家が成立し、それぞれの地で独特のイスラーム文化が開花した。

17世紀末になると、オスマン帝国内諸地域における独立に向けた動きやヨーロッパ列強の進出も活発になり、帝国の領土はしだいに縮小していった。衰退の危機に直面したオスマン帝国は、19世紀に入るとタンジマートと呼ばれる改革によって西欧的近代化をめざすようになり、立憲運動も高揚した。近代化や立憲運動といった動きはアジアの他の地域にもみられた。

オスマン帝国は、第一次世界大戦に参戦して敗北した後トルコ革命によって消滅し、旧オスマン帝国領では民族運動や独立運動が高揚した。しかし、大戦期のこの地域をめぐる列強の外交政策が、その後のパレスチナ問題のような複雑な問題を生み出した。

新たなエネルギー源としての石油の需要が増大すると、20世紀には、大規模な油田開発の可能性をもつ中東地域に対する先進工業国の関心が急速に高まっていった。第二次世界大戦後、中東諸国は東西冷戦という新たな国際政治・軍事情勢に規定されつつ、その多くは世界経済の中で産油国として重要な位置を占めるようになった。その一方で、宗教・宗派、民族間の対立が噴出し、大国間の利害が絡み合う不安定な状態が続いている。

問 下線部に関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の第3図は、1978～1997年度のアラブ首長国連邦(UAE)、イラク、イランからの日本の原油輸入量の推移を表している。図中のa～cを示す国の組み合わせとして適切なものを次の1～6の中から1つ選び、記入しなさい。

1	2	3	4	5	6
a UAE	UAE	イラク	イラク	イラン	イラン
b イラク	イラン	UAE	イラン	UAE	イラク
c イラン	イラク	イラン	UAE	イラク	UAE

(2) 上の(1)の解答を導いた理由を、この時期に中東地域で起こった出来事と結びつけて、90字以内で説明しなさい。

2016 慶應義塾大学 経済学部

「図版ファイル名：2016年慶應義塾大学大問1\_a.jpg」

【1】

5

10

15


【2】

5

10

15


【3】

5

10

15


【4】

5

10

15


【5】

5

10

15




【6】

5

10

15


【7】

5

10

15


【8】

5

10

15


【9】

5

10

15


【10】

5

10

15


【11】

5					10					15				

【12】

5					10					15				

【13】

5					10					15				

【14】

5					10					15				

【15】

5					10					15				

【16】

5					10					15				

【17】

5					10					15				

【18】

5					10					15				

【19】

5					10					15				

【20】

5					10					15				

【21】

5					10					15				

【22】

5					10					15				

【23】

5					10					15				

【24】

5					10					15				

【25】

5					10					15				

【26】

5					10					15				

【27】

5					10					15				

【28】

5					10					15				

【29】

5					10					15				

【30】

5					10					15				

【31】

5					10					15				

【32】

5					10					15				

【33】

5					10					15				

【34】

5					10					15				

【35】

5					10					15				

【1】

・解答例

問6

聖像禁止令でビザンツ皇帝と対立したローマ教皇はフランク王国に接近し、カロリング家のピピンの即位を承認した。その返礼にピピンはランゴバルド王国を攻撃し、ラヴェンナを教皇に寄進した。(89字)

・配点:5点

・採点基準

- ①聖像禁止令で／ローマ教皇がビザンツ皇帝と対立 1点／1点
- ②カロリング家の／ピピンの即位を承認 1点／1点
- ③(ピピンが)ランゴバルド王国を攻撃 1点

【2】

・解答例

問(3)

ワッハーブ運動は『コーラン』に従い、預言者ムハンマドの教えに帰れと説いたイスラームの改革運動で、アラブ人の民族主義を覚醒させ、サウード家の支援で18世紀にワッハーブ王国を建国した。(89字)

・配点:4点

・採点基準

- ①ワッハーブ運動がイスラーム教の原点回帰を説く改革運動であること 1点
- ②アラブ人に民族意識を自覚させたこと 1点
- ③サウード家の支援を受けたこと 1点
- ④ワッハーブ王国の建国 1点

【3】

・解答例

問12

第2代皇帝の建文帝が諸王勢力の削減をはかると、北京に本拠を置く燕王が挙兵して靖難の役が起こった。燕王は南京を占領して永楽帝として即位し、北京に都を遷した。(77字)

・配点:4点

・採点基準

- ①建文帝が諸王の勢力を減策 1点
- ②北京に拠点を持つ燕王(朱棣)が挙兵して靖難の役が起こる→南京を占領、帝位を奪う 1点／1点
- ③都を北京に遷す 1点

【4】

・解答例

問3

大量の兵器・物資および兵力を供給するため、国内や植民地のあらゆる物的・人的資源の利用が求められる物量戦。経済統制のもと、軍需産業を中心に女性や若年層をふくめた総動員体制が構築された。(91字)

・配点:4点

・採点基準

- ①兵力以外の様々な要素(物的資源・人的資源など)の利用が求められる戦争であること 2点
- ②女性・若年層を含むほとんどの国民に、戦争への協力が求められること 1点
- ③「経済統制」「軍需産業の促進(優先)」「配給制」「勤労動員」など具体的事例を少なくとも1つ明記 1点

【5】

・ 解答例

問2

列強資本の後退による民族資本の成長とそれとともなう好況で、知識人や都市労働者が増加した。前者の啓蒙活動は民族運動を活性化させ、後者は労働運動の高揚を導いた。(78字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①民族資本の成長(「好景気」「経済成長」「経済発展」などの語でも可) 1点

②上記①の理由が、(大戦による)列強資本の後退にあること 1点

③労働者・知識人の増加(「労働者」のみ、「知識人」のみでも可。「中産層の増加」なども可) 1点

④民族運動・労働運動(社会運動)の活性化 1点

\*「民族運動」は必須。「労働運動(社会運動)」はなくても可。ただし、③で「労働者の増加」のみ述べた場合は、「労働運動」は必須。

【6】

・ 解答例

革命が自国に波及することをおそれて、ロシア・オーストリア・プロイセンなどとともに第1回対仏大同盟を結成して、フランスの拡大政策に対抗した。(69字)

・ 配点:3点

・ 採点基準

①革命の自国への波及を警戒 1点

②ヨーロッパ諸国(オーストリア、プロイセンなど)と第1回対仏大同盟を結成し、フランスに対抗 2点

【7】

・ 解答例

問5

植民地時代に宗主国の都合で、現地の人々のつながりを無視して人為的に境界線が引かれ、宗主国の経済的利益に沿った輸出向けの単一作物栽培などに偏った開発が強制された。(80字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①植民地時代に宗主国の都合で境界線が引かれたこと 1点

②現地の人々のつながりを無視して境界線が引かれたこと 1点

③宗主国の経済的な利益が優先されたこと。 1点

④輸出向けの単一作物栽培(モノカルチャー経済)が強制されたこと 1点

【8】

・ 解答例

問4

19世紀後半、中央アジア南部に侵攻し、ウズベク人の国家ブハラ=ハン国、ヒヴァ=ハン国を保護国とし、シル川東南のコーカンド=ハン国を併合してロシア領トルキスタンを形成した。(84字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①中央アジアのウズベク人の国家を支配下においたこと 1点

②ブハラ=ハン国を保護国化 1点

③ヒヴァ=ハン国を保護国化 1点

④コーカンド=ハン国を併合 1点



【9】

・解答例

メソポタミアでは、占星術の発達に伴って天体観測が精密化し、太陰暦と共に1週7日制も確立された。エジプトでは、ナイル川の増水を予知する必要から正確な暦が求められ、太陽暦が考案された。(90字)

・配点:5点

・採点基準

①メソポタミア 3点

- ・占星術 1点
- ・太陰暦 1点
- ・1週7日制 1点

②エジプト 2点

- ・ナイル川の増水(氾濫) 1点
- ・太陽暦 1点

【10】

・解答例

問3

儒学の教養を身につけた知識人層で、その多くは新興地主層である形勢戸の出身であった。科挙を通じて官僚となり、皇帝独裁体制を支えた支配者層であり、文化の担い手でもあった。(83字)

・配点:4点

・採点基準

①儒学の教養を身につけた知識人層 1点

②おもに形勢戸の出身 1点

③科挙官僚となった 1点

④文化の担い手となった 1点

【11】

・解答例

権利の章典によって議会主権に基づく立憲王政が確立し、18世紀前半にホイッグ党のウォルポールが首相となった。その後内閣は国王ではなく議会に対して責任を負うとする責任内閣制も形成された。(90字)

・配点:4点

・採点基準

①議会主権の確立 1点

②ウォルポールが首相となる 1点

③責任内閣制の形成 1点

④内閣は国王ではなく議会に対して責任を負う 1点

【12】

・解答例

彼らはマムルークと呼ばれ、奴隸身分であるが、カリフは彼らを軍人として重用し、親衛隊の騎兵として、軍事の中心を担わせた。(59字)

・配点:3点

・採点基準

①マムルーク 1点

②奴隸身分 1点

③(マムルークが)軍事の中心を担う 1点

【13】

・解答例

問4

神や普遍は現実に実体として存在すると唱えるアンセルムスらの実在論と、普遍は実在せず、思考の中に存在するだけと唱えるアベラールら唯名論との対立で生じた論争。(77字)

・配点:4点

・採点基準

- ①アンセルムス 1点
- ②実在論 1点
- ③アベラール 1点
- ④唯名論 1点

【14】

・解答例

問7

ブルガール人は7世紀にブルガリア帝国を建国し、その後、スラヴ化してギリシア正教に改宗した。ビザンツ帝国に合併されたのち、12世紀に再び独立したが、14世紀にオスマン帝国に併合された。(87字)

・配点:4点

・採点基準

- ①7世紀にブルガリア帝国を建国した 1点
  - ②ギリシア正教に改宗した 1点
  - ③ビザンツに服属した 1点
  - ④再び独立した 1点
- \*「第2次ブルガリア帝国を建国した」も可。

【15】

・解答例

問5

最初にヴァージニア植民地が建設され、迫害を逃れてきたピューリタンらがニューイングランドに入植し、オランダからニューアムステルダムを奪ってニューヨークと改称した。(80字)

・配点:4点

・採点基準

- ①最初に建設されたのがヴァージニア植民地であること 1点
  - ②ピューリタンがニューイングランド植民地に入植 1点
  - ③ニューアムステルダムをニューヨークと改称 1点
  - ④オランダから奪う 1点
- \*ニューアムステルダムをニューネーデルラント(orニューネザerland)としても可。

【16】

・解答例

問4

『コーラン』にかかわる学問が「固有の学問」で、法学・神学・歴史学や語学などである。非アラブ人地域に起源をもつ学問が「外来の学問」で、哲学・医学・数学などである。(80字)

・配点:4点

・採点基準

- ①『コーラン』にかかわる学問 1点
- ②法学・神学・歴史学 1点  
\* 3つとも。
- ③非アラブ人地域に起源をもつ 1点
- ④哲学・医学・数学 1点  
\* 3つとも。

【17】

・解答例

問4

ドレフュス事件

ゾラ

ユダヤ系将校ドレフュスがドイツのスパイとされ終身刑を宣告されたが、冤罪であることが証明され、国内に広がる反ユダヤ主義に乗じて有罪を主張した軍部は権威を失墜した。(80字)

・配点:4点

・採点基準

- ①ドレフュスがユダヤ系(ユダヤ人)であること 1点
- ②スパイ容疑で有罪となったこと 1点
- ③冤罪(誤審)であったこと 1点
- ④軍部が権威を失ったこと(軍部の影響力が低下したこと) 1点

【18】

・解答例

問3(b)

戦後ドイツの分割占領により、ザール地方はフランスの管理下におかれた。西ドイツの建国後に、フランスとECSCを発足させたことで、最終的に西ドイツへの編入が決定した。(78字)

・配点:4点

・採点基準

- ①戦後ドイツの分割占領 1点
- ②フランスの占領統治(管理)下におかれた 1点
- ③西ドイツとフランスがECSCを発足させる 1点
- ④西ドイツへの編入 1点

【19】

・解答例

問3

14世紀後半、洪武帝は政治の中枢であった中書省とその長官の丞相を廃止し、六部を皇帝直属として、皇帝に権力を集中した。(56字)

・配点:5点

・採点基準

- ①14世紀後半 1点
- ②洪武帝 1点
- ③中書省／丞相(宰相)を廃止 1点／1点
- ④六部を皇帝直属とする 1点

【20】

・ 解答例

問3

スエズ戦争に参戦した国はイギリスとフランスとイスラエルであり、イギリスとフランスは安全保障理事会の常任理事国であった。それゆえ両国が拒否権を発動する可能性があったから。(84字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

- ①スエズ戦争の参戦国としてイギリス・フランスをあげる 1点
- ②イギリスとフランスが安全保障理事会の常任理事国であった 1点
- ③両国が拒否権を発動する可能性があること 2点

【21】

・ 解答例

問7

下関条約で、日本は清に朝鮮の完全独立、日本に対する遼東半島・台湾・澎湖諸島の割譲、通商上の特権の付与、開港場での企業の設立、賠償金の支払いなどを認めさせた。(78字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

- ①朝鮮の独立の承認 1点
- ②遼東半島／台湾・澎湖諸島の割譲 1点／1点
- ③開港場での企業の設立、通商特権の付与、賠償金支払い(いずれかが書かれていれば加点) 1点

【22】

・ 解答例

イギリスの海上封鎖に対し、アメリカの独立を支援するため、ロシアのエカチェリーナ2世の提唱により結成された同盟で、中立国の航行と物資輸送の自由を要求し、イギリスを国際的に孤立させた。(90字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

- ①イギリスの海上封鎖に対抗して結成された 1点  
\* アメリカの独立を支援するためのみでも可。
- ②ロシアのエカチェリーナ2世の主導で結成された 1点
- ③中立国船舶の航行、物資輸送の自由を主張 1点
- ④結果としてイギリスが孤立したこと 1点

【23】

・ 解答例

問7

大戦中日本は、二十一カ条要求で山東地区の旧ドイツ権益の継承を中国に受諾させた。戦勝国としてパリ講和会議に参加した中国はその無効を主張したが拒否され、排日を訴える五四運動が全国的に拡大した。(94字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

- ①日本が山東地区の旧ドイツ権益の継承を中国に認めさせたこと 1点  
\* 「二十一カ条要求」はなくても可。
- ②パリ講和会議で中国が①の無効を訴えたこと 1点
- ③パリ講和会議で中国の要求が拒否されたこと 1点
- ④五四運動で反日(排日)運動が拡大したこと 1点

【24】

・解答例

問4

アフリカ東岸は10世紀以降、マリンディなどにムスリム商人が住みつき、インド洋交易の西の拠点として繁栄、アラビア語の影響を受けたスワヒリ語が成立し、スワヒリ文化が生まれた。(83字)

・配点:4点

・採点基準

- ①マリンディなどにムスリム商人が定着した 1点  
\*キルワ、ザンジバルなども可。
- ②インド洋交易の西の拠点として繁栄した 1点
- ③スワヒリ語が成立した 1点
- ④スワヒリ文化が広がった 1点

【25】

・解答例

古代ペルシア語が公用語とされ、楔形文字を表音化したペルシア文字が使用されたが、商業活動でオリエント世界の共通語となっていたアラム語やアラム文字なども使用された。(80字)

・配点:4点

・採点基準

- ①古代ペルシア語が公用語 1点
- ②ペルシア文字は楔形文字 1点
- ③アラム語・アラム文字も使用 1点
- ④アラム語はオリエントの共通語 1点

【26】

・解答例

問3(4)

憲法の修正により奴隷制は廃止されたが、黒人の多くはシェアクロPPERとなり、さまざまな差別も温存された。1964年には公民権法が制定され、法的な差別は解消されたが、社会的な差別は解消されていない。(92字)

・配点:5点

・採点基準

- ①奴隷制は廃止されるも／黒人の差別は温存 1点／1点
- ②公民権法で／法的差別は解消 1点／1点
- ③社会的差別は解消されず 1点

【27】

・解答例

問2

アッバース朝ではマワーリーに人頭税が課されず、アラブ人でも土地所有者には地租が課せられるなど、税制においてウマイヤ朝であった民族による差別がなくなり、イスラーム帝国と呼ばれた。(88字)

・配点:4点

・採点基準

- ①マワーリーの人頭税がなくなる 1点
- ②アラブ人も/地租を負担 1点／1点
- ③イスラーム帝国となった 1点  
\*「ムスリム間で差別がなくなった」で可。

【28】

・ 解答例

フィヒテが「ドイツ国民に告ぐ」の講演でドイツ人の国民意識を鼓舞する一方、シュタイン、ハルデンベルクらが農民解放など行政改革を進め、教育改革や軍制改革も行われた。(80字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①フィヒテが講演「ドイツ国民に告ぐ」で国民意識を鼓舞した 2点

②プロイセン改革の内容 2点

・ シュタイン、ハルデンベルクらが主導 1点

・ 農民解放などの行政改革、教育や軍制の改革が行われたこと 1点

\* 「農民解放」もしくはそれに準ずる語句がない場合は加点せず。

【29】

・ 解答例

問6

第2次ウィーン包囲の失敗後、1699年のカルロヴィッツ条約でハンガリー・トランシルヴァニアをオーストリアに割譲、これ以後オスマン帝国の領土は縮小に転じ、勢力衰退に向かった。(83字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①第2次ウィーン包囲が失敗したこと 1点

②カルロヴィッツ条約 1点

→オーストリアにハンガリーを割譲したこと 1点

③ウィーン包囲の失敗が帝国領土縮小の契機となったこと 1点

【30】

・ 解答例

人間は、司祭のバラモン、武士のクシャトリヤ、農民や商人のヴァイシャ、隷属民のシュードラにわかれるという観念で、後に発達するカースト制度の基本的枠組みとなった。(79字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①バラモン(司祭、聖職者) 1点

②クシャトリヤ(武士、王侯) 1点

③ヴァイシャ(農民、商人) 1点

④シュードラ(隷属民) 1点

\* 身分の説明が誤っていれば、不可とする。

【31】

・ 解答例

問3

総会は全会一致制で、軍事的制裁権を持たなかったため、国際紛争に対し迅速で有効な対応ができなかった。またアメリカ合衆国が加盟せず、敗戦国のドイツ、社会主義国のソ連も当初は排除されていた。(92字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①総会が全会一致制であった 1点

②軍事的制裁権がなかった 1点

③上記①②の理由から、国際紛争に対し有効に対応しきれなかった 1点

④アメリカが加盟しなかった 1点

【32】

・ 解答例

問3

新法とは青苗・均輸・市易・募役・保甲・保馬などの諸法で、農民や中小商工業者の保護、国家財政のたてなおし、軍事力の強化をめざす改革であったが、司馬光ら旧法党の反対で改革は挫折した。(89字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①青苗・均輸・市易・募役・保甲・保馬 2点

＊すべて書いていて2点。

②農民、中小商工業者の保護／財政再建／富国強兵 2点

＊3つのうちの2つを書いていれば2点。

③司馬光らの反対で挫折 1点

【33】

・ 解答例

アテネでは商工業の発展を背景に、重装歩兵として活躍する富裕平民が参政権を要求して貴族と対立を深めていた。こうした中で、平民の支持を得て非合法で権力を奪い、独裁を行う僭主が現れた。(89字)

・ 配点:5点

・ 採点基準

①平民の伸長 2点

②(貴族と平民の)身分闘争 1点

③僭主は平民と結ぶ／平民の支持 1点

④非合法に権力にぎる 1点

【34】

・ 解答例

問6

彼は元老院など共和政の制度を尊重し、プリンケプス(市民の中の第一人者)と自称したが、実際には全権力を手中に収め、事実上の独裁政治であった。(69字)

・ 配点:4点

・ 採点基準

①共和政尊重 2点

②プリンケプス(第一人者)と自称／元首政(プリンキパトゥス) 1点

③事実上の独裁 1点

【35】

・ 解答例

(2)

bは1979年のイラン革命をきっかけに原油輸入が減少しているのでイラン、cは1990年のクウェート侵攻を契機に輸入が減少し、翌年の湾岸戦争以降は輸入が途絶えているのでイラクと判断できる。(83字)

・ 配点:5点

・ 採点基準

① b : 1979年のイラン革命で／原油輸入が減少しているのでイラン 1点／1点

② c : 1990年のイラクのクウェート侵攻で原油輸入が減少 1点

1991年の湾岸戦争以降、／原油輸入が途絶えているのでイラク 1点／1点